



久米南町の事例紹介

1. 取り組みの流れ

町民バスで
カバー期

課題
認識期

対策立案・
計画作成期

満を持しての
システム導入期!

デマンド交通
活用発展期

- 2000年代 : 民営バス、タクシー事業者 撤退
- 2005年 : 町民バス 運行開始
- 2013年 : 岡山県の研修に参加
- 2014年 : 町民バス、町全体の交通の検討開始
- 2014年 : 1度目のオンデマンド交通実証実験
- 2014年 : 地域公共交通網計画を策定
- 2015年 : 2度目のオンデマンド交通実証実験
- 2016年 : 「デマンド交通 カッピのりあい号」本格運行
- 2019年4月 : トヨタ・モビリティ基金の助成スタート
- 2020年1月 : SAVSを導入
- 2020年6月 : 町内商店からの宅配スタート
- 2020年9月 : 個人宅間配送スタート
- 2021年4月 : 土日祝日での運行開始、平日運行時間帯を拡大
- 2022年4月 : 保育園給食用食材配送スタート(地元商店→3保育園)

町民バス運行方法の
危うさに気づく。

住民の声を聞きながら、
運行エリアや時間帯を調整。

それなりに利用され
満足度向上するも
新たな課題が出現

課題解決の道筋は見てい
たが、資金面でのハードルを
クリア出来なかったところに
救いの手

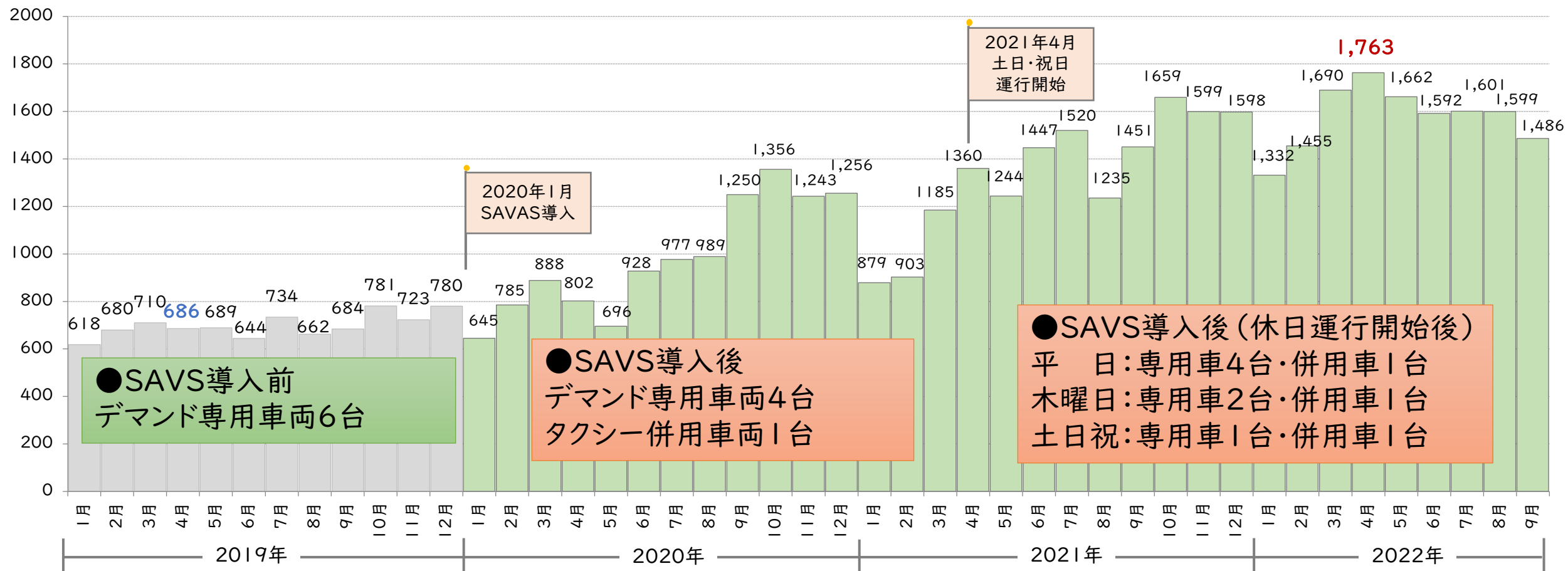
2. デマンド交通（サービス内容）

運行時間内、久米南町内のどこからどこへでも自由に使い、電話でも、スマートフォンでも配車予約ができ、町外の方も、利用可能。

運行日	毎日 ※年末年始（12月29日～1月3日）を除く
運行時間	（平日） 7時30分～18時30分 （土日祝日）8時00分～17時00分
予約受付時間	運行時間と同じ ※事前予約は、翌日分まで
運賃	300円/回 半額：小学生、生活保護受給者、「おかやま愛カード」保持者 該当の各種「障害手帳」保持者 無料：小学生未満

2. デマンド交通（実績：利用者数）

- ・SAVSの導入後、増加傾向。
- ・最多利用者：**1,763人/月**（2022年4月）※2019年4月（686人/月）比 **2.6倍**



3. 宅配サービス（サービス内容）

<おすそわけサービス>

-町民宅間の配送-

利用日時	デマンド交通運行時間と同じ
配達料	配達用ケース一つにつき300円
配達ケース	<ul style="list-style-type: none"> ・縦30cm×横40cm×高さ30cm ：クーラーボックス型（5kg以内） ・縦33cm×横49cm×高さ30cm ：コンテナ型（10kg以内）
予約方法	<ul style="list-style-type: none"> ・到着時刻を指定し、電話で予約 例）12時00分到着希望の場合 ：11時40分～12時20分配達 ・再配達はなし （必ず受取人に在宅の確認を 行ってから予約）

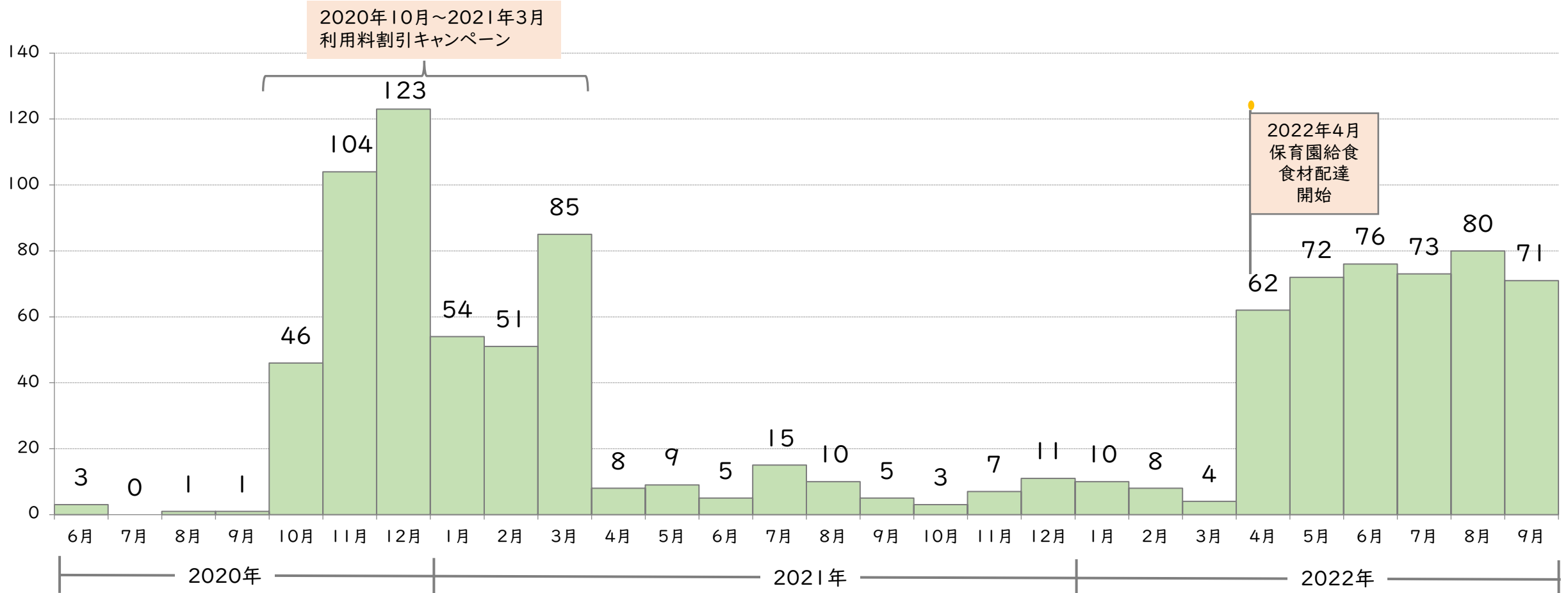
<お店から配達サービス>

-町内のお店（6店舗）からの配送-

利用日時	デマンド交通運行時間と同じ
配達料	配達用ケース一つにつき300円
配達ケース	<ul style="list-style-type: none"> ・縦30cm×横40cm×高さ30cm ：クーラーボックス型（5kg以内） ・縦33cm×横49cm×高さ30cm ：コンテナ型（10kg以内）
予約方法	<ul style="list-style-type: none"> ・各対応店舗に直接、電話等で 注文。 ・再配達はなし （必ず受取人に在宅の確認を 行ってから予約）

3. 宅配サービス（実績：配送個数）

- ・サービス開始以降、利用料割引キャンペーン期間中を除くと低調。
- ・2022年4月保育園の給食用食材配達を開始し、現在は安定利用。



4. 収支（運賃収入・移動に関わる支出）

利用者あたりのコストは、2021年は2106円/人で、2019年の48.9%まで低下。

	2019年	2020年	2021年	2022年 (9月分まで)
利用者数(人)	8,391	11,815	16,531	14,636
貨物数(個)	—	278	263	456
運賃収入(千円)*1	1,935	2,697	3,785	3,406
運行回数(回)	6,265	8,868	11,037	9,195
町の支出金(千円)*2*3	36,084	31,800	34,820	26,117
利用者あたりのコスト(円/人)	4,300	2,691	2,106	1,784

SAVS経費による増加

*1 2020年以降は、貨物の運賃収入を含む

*2 国庫補助(地域内フィーダー系統補助)を除いた額で、2021年度、2022年度の実績は6,180千円

*3 2021年4月からはSAVS経費を含む

5. 事業成立に向けた論点

① 事業パートナー・サポートの必要性

-町から運行事業者への補助金額は、5年間の基本協定に基づき基本は固定額。

固定額から、運賃収入や国庫補助金を差し引いた金額を町から支払い。

➡協定上、利用者の増加が、運行事業者の収益増加に直接的に寄与しない固定額が大半。

今後、運行事業者のモチベーション向上につながるようなインセンティブの設定が必要。

5. 事業成立に向けた論点

② 事業維持のための収益・税収の維持確保

- 事業維持のために、固定客を増やしていくことが必要。
- 岡山県警察が県内在住の65歳以上の運転免許証返納者に発行する「おかやま愛カード」の提示で、カッピのりあい号の運賃が半額になる。
- この利点を広く周知し、「カッピのりあい号があるので運転免許証を返納してもよい」と考える人を増やし、その他の公共交通機関利用促進にもつなげ、「車（自家用車）がないと生活できない」と当たり前に口を揃える住民の既成概念を「車（自家用車）があったほうが便利」くらいの感覚まで変化させていきたい。